



平素より本プログラムをご支援頂き誠に有難うございます。

今夏より日本の入国制限が大幅に緩和され、学生達の留学再開が本格化しました。今回はそのご報告をお届け致します。

2022年9月、清華大生が続々来日！

日本では新型コロナの水際対策のため長らく外国人の入国者数制限が続いていましたが、2022年夏より徐々にそれらが緩和されていきました。まず9月7日には1日当たりの入国者数が2万人から5万人に緩和され、観光目的の外国人の入国については添乗員を伴わないツアーが認められました。ただしこの時点では個人旅行は引き続き認められず、またすべての入国者に対してビザ取得が義務付けられていました。

しかし10月11日からは遂に入国者数の上限が撤廃され、個人の外国人旅行客の入国も解禁されるなど、制限はほぼコロナ禍前の状態に戻ることになりました。アメリカ、韓国、イギリスなど、68の国や地域から観光などで訪れる短期滞在者のビザを免除する措置が再開されたほか、これまで国際線の受入は主要な5空港のみでしたが、地方の空港や港でも順次再開される見通しとなりました。

◆出典：NHK 特設サイト 新型コロナウイルス：<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>



清華18期生 ZANG くん

この日本政府の入国緩和策により、東工大・清華大共にプログラム生の留学再開に向けての動きが一気に加速しました。

まず清華大生については7月に来日した清華大17期生2名に続き、9月中旬には清華大18期生の内1名が香港経由で来日しました。その後、清華大17期生の内2名がコロナ禍以降3年ぶりに復活した北京からの直行便で成田に到着。その2日後には同じく17期生の最期の1名と、18期生7名が北京からの直行便で成田に到着しました。

最期に来日した計8名は成田12:20着の便でしたが、到着時に1名のチェックイン荷物が他の乗客に間違えて持っていかれるというトラブル(*)で到着ロビーに出てくるまで3時間を要しました。更にその後寮に向かうバスの移動では、この日都内で開催されていた安倍元総理の国葬の影響で渋滞に巻き込まれてしまい、結局彼らが寮に到着したのは成田空港到着後7時間以上経過した午後7時半を過ぎていました。(*荷物は当日中に見つかり、後日無事に本人に届けられました！)

大変な長旅となってしまった清華大の皆さんは、寮に向かうバスの中ではさすがに疲れた様子で眠りに落ちていましたが、それでも寮に到着した後は遅い時間にもかかわらず到着を待ってくださった寮長さんやチューターさんの指示に従ってテキパキと対応していました。

後日、清華事務室では来日した清華大生へのオリエンテーションや銀行口座開設の付き添いなどで折に触れて清華大生の皆さん1人ひとりと話をすることがありましたが、清華生の皆さんは常にとっても礼儀正しく、また日本滞在中にやりたい事や行ってみたい場所など色々と目を輝かせて語ってくれました。

ようやくリアルに留学が叶った清華大生の皆さんには、この日本滞在期間中、研究に旅行に様々な体験を通して充実した日々を過ごして頂きたいと願っています。



Welcome to
Tokyo Tech



清華17期生 TANG くん WANG さん

成田到着後3時間かかって遂に到着ロビーに現れた清華生8名、お疲れ様でした！！

左から清華18期生LANさん、17期生HUAさん、18期生CHENGさん、LIさん、MAくん、WANGくん、LIくん、SUNくん



清華プログラム生 - 東工大生・清華大生で集合写真を撮りました！

この夏来日予定だった清華大プログラム生の全員の入国が終わった9月末、リアルにプログラム生同士が言葉を交わせる絶好の機会を作るべく、清華生へのオリエンテーションを予定していた9月28日、両校のプログラム生に集まってもらい集合写真の撮影会を行いました。

良く晴れたこの日、集合場所のTaki Plaza 1Fには東工大プログラム生も6名が駆けつけてくれました。このうち4名はこれから清華大学へ留学を予定している東工大18期生、そして東工大16期生と17期生からもそれぞれ1名が参加してくれました。更に、ナノテクノロジーコースの中嶋先生もお忙しい中駆けつけてくださいました。



HUAさん、Liさんと三浦くん



TANGさんと中嶋先生！



撮影の合間、自己紹介大会が始まりました

双方の学生達は最初はまだ声を掛けずらそうにしていたましたが、集まった学生の中では1番先輩になる東工大16期生の岡村寛さんの声かけで全員での自己紹介が始まりました。清華生の中には時々日本語で、そして東工大生はほぼ全員が中国語で自己紹介を始めるなど、お互いにこれまで留学のために準備してきた語学の練習成果が垣間見られていました。そして皆さんで輪になり、それぞれの自己紹介を真剣に聞き入る表情がみられました。

こうして東工大生と清華大生が一同に会して交流している姿を見ると、このプログラムがやっと動き出したと実感したシーンでした。

その後、撮影場所を本館前ウッドデッキ周辺に移し、晴れ渡った晴天の元、笑顔溢れる学生大集合写真を撮りました。お楽しみください！



清華大17・18期生と東工大16・17・18期生、やっと交流できました！

東工大生同士で集まるのも初めてでした！

撮影の合間にくつろぐ清華生の皆さん



東工大生、3年ぶりに清華大学キャンパスへ

東工大プログラム生にも動きがありました。

前回のニュースレターでお知らせした中国の留学生受け入れ再開のニュース直後、この夏中国に渡航予定だった東工大18期生5名は、即中国ビザセンターへ長期留学ビザ申請を行いました。この5名は全員が中国政府奨学金を獲得していたためビザはすぐに発行され、平行して手配していた航空券の予約も終えて、10月3日には第1陣3名が北京に飛びました。



清華大に到着した野中さん、萩本さん、長谷川さん！

中国入国後の隔離について、事前情報では入国後7日間の隔離と、更に北京市入京後は3日間の健康観察との事でしたが、渡航した3名が清華大学の敷地内に入る事を許されたことと連絡があったのは、中国入国から2週間半後の10月21日でした。しかも、中国ではインストールがマストとなっている健康チェックアプリの表示が緑にならないと建物等への入場ができないのですが、この3名のアプリ画面はこの時点でまだ緑にならず。そのため大学の建物への入館ができずにいたようですが、それでも清華大学の敷地内に入れた事がとても嬉しかったとの報告と共に、満面の笑みと元気な姿でポーズを決めた写真を送ってくれました。

東工大18期生で残る2名の学生も、11月初旬には北京に向けて順次日本を出国しました。

この東工大18期生5名は入学以来とても仲がよく、明るくエネルギー溢れる学生達なので、今後も日本とは勝手の違う環境の中でも、同期の学生同士で励ましあいながら共に存分に充実した留学生活を送ってくれる事と思います。

清華プログラム教職員一同、日本からエールを送りたいと思います！

祝・東工大16期生 中西夢帆さん、渡辺宏樹さん 東工大修士課程修了！

2022年9月22日、東工大大岡山キャンパスでは令和4年度9月東京工業大学学位記授与式が執り行われました。

この日、本プログラムより式典に参加したのは、東工大16期生バイオコースの中西夢帆さんと社会理工学コースの渡辺宏樹さんです。2名とも東工大の修士課程を修了し学位記を手に入れました。

中西さん、渡辺さんは共に2020年春に東工大に入学した本プログラム東工大16期生で、コロナ禍でプログラム生としては大変な苦労があった事はこれまでのニュースレターで度々詳細をお伝えした通りです。渡辺宏樹さんは、東工大修士課程を修了後は東工大の博士課程に進学されます。そして清華大学修士課程は来年夏の修了を目指して、引き続き研究を続ける予定です。

中西夢帆さんは、先に卒業した東工大16期生と同じく、コロナ禍の本プログラム特別措置によりこの卒業を持ってプログラムを終了されます。清華大学の修士課程についてはこれまでオンラインで続けてこられた研究や学修期間について、後日プログラムとして両校のコース長がサインをした「プログラム在籍証明書」が贈られる予定です。日本では11月中旬よりコロナのオミクロン株の新たな変異株により感染者数がまた上昇に転じ、第8波が懸念されてきました。

東工大16期生の皆さんは、短い修士課程の期間を全てコロナ禍一色で過ごす事となり、大変な困難に直面した在学期間でした。それでも最後まで東工大修士課程を修了された努力を心から称えたいと思います。

中西さん、渡辺さん、ご卒業おめでとうございます！



渡辺宏樹さんには式典前に撮影させてもらいました！